

第25回 最先端医療イノベーションセンター 定例セミナー

日時：2019年7月16日（火）18:00～19:00

場所：大阪大学大学院医学系研究科附属 最先端医療イノベーションセンター棟 1F マルチメディアホール

演題・講師：

○演題：牛車腎気丸の抗フレイル・サルコペニア研究のこれまでの経過について

講師：萩原 圭祐 先進融合医学共同研究講座 特任教授

要旨：我々は、2011年より、いち早くフレイル・サルコペニア対策に取り組み、東洋医学において加齢の症状に使われてきた牛車腎気丸が、サルコペニア・疼痛に効果を示すことを、様々なマウスモデルを用いて明らかにしてきた。現在、ヒトへの応用に向け、前向き研究が始まったその研究成果をご紹介します。

○演題：牛車腎気丸の抗フレイル効果に関する前向き研究に向けての進捗について

講師：梶本 勝文 先進融合医学共同研究講座 特任助教

要旨：超高齢化社会を迎え、フレイル、サルコペニアに対する効果的な対策が喫緊の課題であるが、有効な治療法は確立していない。我々の基礎的検討、臨床での少数例の検討の中で、牛車腎気丸の抗サルコペニア効果が明らかとなった。牛車腎気丸の抗フレイル効果に関する前向き研究に向けての我々の取り組み、進捗状況について報告する。

○演題：牛車腎気丸の薬物動態研究（血漿中濃度測定）について

講師：渡辺 淳子 株式会社ツムラ 漢方研究開発本部 ツムラ漢方研究所 漢方システム[®]イノベーション部 部長

要旨：漢方薬の作用機序や作用メカニズム研究と結びついた含有成分の薬物動態に関する知見は現在でもまだ少なく不明な部分が多い。フレイルを引き起こすサルコペニアに対し、牛車腎気丸（GIG）が予防効果を示すことが明らかにされたことから GIG エキス末を経口投与した際の動物における GIG 含有成分の血漿中濃度推移を報告する。

座長：萩原 圭祐 先進融合医学共同研究講座 特任教授

◇最先端医療イノベーションセンター 研究開発プロジェクトについて

（最先端医療イノベーションセンターHPより抜粋）

・「超高齢社会の課題である介護・寝たきりの問題や癌の問題を

先進医学と伝統医学の融合により問題解決を目指す」(A-13プロジェクト)

超高齢社会を迎えたわが国は、介護・寝たきりの問題や癌患者の増加の問題に直面しています。一方、医療費の伸びは期待できず、これらの問題解決に向けた新たなアプローチが必要とされています。我々は、漢方腎虚概念をヒントに、フレイルを引き起こすサルコペニアや慢性疼痛に対し、牛車腎気丸が効果を示すことを分子生物学的に明らかにし、更なるエビデンス構築や新たな臨床応用を目標に研究を行っています。

また、漢方における医食同源の考えを基に、癌ケトン食治療の臨床研究を国内で初めて行い、その臨床効果が高い注目を集めています。我々は、先進医学と伝統医学を融合させた新たな融合医学を構築し、超高齢社会の問題解決を目指します。